

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 11010010

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○公営住宅潮見団地建替—平成30年度～31年度 ○新規公営住宅団地建設—平成31年度から平成35年度(5ヶ年 木造平屋 48戸)
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 良好な住宅・宅地の供給	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	公営住宅整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	11 町有施設整備室	
事業主体	雄武町	関係課	3 税財管理課	
事業指標	公営住宅の建替		#N/A	
事業目標	公営住宅建替 38戸	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	有 入居者による住民説明会及び現地見学会の開催	関係例規・法令名	有 公営住宅法	
住民協働		関係個別計画名	有 公営住宅等長寿命化計画	

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
事業内容		事業内容	事業内容	事業内容	事業内容	事業内容
計 画 内 容	○公営住宅新日の出団地建替事業 ・団地建替—10棟38戸 ・団地内整備—駐車場整備38台 幼児遊園600㎡ 敷地造成 ・既設公営住宅除却—11棟44戸 ○公営住宅潮見団地建替事業 ・実施設計—1～3LDK 4棟18戸	公営住宅新日の出団地 建設—木造平屋1棟4戸 駐車場整備—10台 敷地造成工事 (平成24年度繰越明許事業) 建設—木造平屋1棟6戸 既設公住除却—2棟8戸	公営住宅新日の出団地 建設—木造平屋2棟7戸 駐車場整備—7台 既設公住除却—2棟8戸 敷地造成工事	公営住宅新日の出団地 建設—木造平屋2棟7戸 駐車場整備—7台 既設公住除却—2棟8戸 敷地造成工事	公営住宅新日の出団地 建設—木造平屋2棟8戸 駐車場整備—8台 既設公住除却—3棟12戸 敷地造成工事	公営住宅新日の出団地 建設—木造平屋2棟6戸 駐車場整備—6台 既設公住除却—2棟8戸 敷地造成工事 公営住宅潮見団地 実施設計1～3LDKタイプ 木造平屋4棟18戸
	事業費(千円)	811,300	183,100	140,600	150,200	172,800
計 画 事 業 費	財源内訳	290,505	68,835	52,662	54,212	60,745
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	520,795	114,265	87,938	95,988	112,055	110,549
実 績 事 業 費	事業費(千円)	178,425	178,425	0	0	0
	財源内訳	73,094	73,094			
	国庫支出金	0				
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	105,331	105,331				
特定財源の名称	社会資本整備総合交付金	【評価・実績】	(実施内容等) 公営住宅新日の出団地 建設 木造平屋2棟10戸 既設公住除却 2棟8戸 駐車場整備 10台 敷地造成工事 ※前年度評価結果 A—継続/現状維持	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果	(実施内容等) ※前年度評価結果
前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	10戸	7戸	7戸	8戸	6戸
第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	97%	0%	0%	0%	0%
	全体達成率	22%	22%	22%	22%	22%
	事業進捗状況	☆☆☆☆				

事業名	公営住宅整備事業	評価者 管理職 職氏名	町有施設整備室長	渡邊 孝司
		評価者 作成者 職氏名	建築係長	宇野 安久

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	公営住宅入居者、町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	建替計画戸数の確保	
【抱える課題やニーズは】	老朽狭隘公営住宅の住環境整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	居住水準の向上と安全で安心な住環境整備	① 建設戸数の実績	目標年度	平成25年度
			目標値	10戸
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	良質な住宅の供給及び安全で安心な住環境の確保	②	実績値	10戸
			達成度	100.0 %
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札により民間業者に発注し、公営住宅新日の出団地2棟10戸の建替を実施した。	目標年度	平成25年度
			目標値	
			実績値	
			達成度	#DIV/0! %

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民に対する住宅供給施策として、公営住宅の老朽化、狭隘化の解消は町が担う必要がある。
	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効/概ね有効 /課題あり	設定した目標値の達成状況	建替事業の推進により、老朽・狭隘住宅の解消と安全で安心な住環境の向上が図られた。
	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的/概ね効率的 /課題あり	判断の理由	入札によって事業費が抑制されたこと及び建替による修繕等の維持管理費が抑制されたことは効率性と判断される。
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

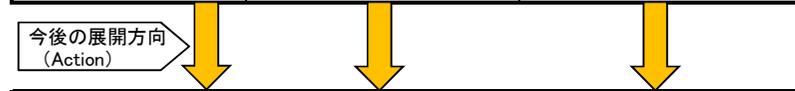
公平/概ね公平 /公平でない	判断の理由	事業実施により、良好で安全な住環境が確保されたことは公平であると判断する。
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
老朽・狭隘な住宅の解消と安全で良好な住環境の確保のための公営住宅整備は、今後も計画どおり進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
公営住宅ストックの効率的な更新整備を行い、多様化する住宅ニーズや公営住宅需要への的確な対応のため、必要な事業であり、継続・現状維持が適当である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 11010020

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】 ※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	A	
単位施策	2 良好な住生活の確保	政策事務分類	1 単独自治事務(例規)	
事業名	雄武町快適住まいづくり促進事業	見直し年度	平成27年度	
事業期間	平成25年度～平成27年度	担当課	11 町有施設整備室	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	新築及び改修戸数	ハード/ソフト事業区分	2 ソフト事業	
事業目標	新築・改修 40戸/年	関係例規・法令名	有 雄武町快適住まいづくり促進条例	
住民参加	無	関係個別計画名	無	
住民協働				

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容																																																																										
計 画 内 容	<p>勤労者世帯・子育て世帯及び高齢者等世帯に対し、住宅及び住環境の整備による定住を目的とし住宅建設及び改修を行う世帯に資金の一部を補助する。</p> <p>平成23年度から平成27年度(5ヶ年)</p>	快適住まいづくり支援 (社会資本整備総合交付金)	快適住まいづくり支援 (社会資本整備総合交付金)	快適住まいづくり支援 (社会資本整備総合交付金)																																																																												
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%;">事業費(千円)</td> <td style="width: 15%;">80,000</td> <td style="width: 15%;">40,000</td> <td style="width: 15%;">20,000</td> <td style="width: 15%;">20,000</td> <td style="width: 15%;">0</td> <td style="width: 15%;">0</td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">財 源 内 訳</td> <td>国庫支出金</td> <td>9,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td>3,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道支出金</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>71,000</td> <td>37,000</td> <td>17,000</td> <td>17,000</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">実 績 事 業 費</td> <td>事業費(千円)</td> <td>43,615</td> <td>43,615</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>国庫支出金</td> <td>2,163</td> <td>2,163</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>道支出金</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>41,452</td> <td>41,452</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	事業費(千円)	80,000	40,000	20,000	20,000	0	0	財 源 内 訳	国庫支出金	9,000	3,000	3,000	3,000		道支出金	0					地方債	0					その他	0					一般財源	71,000	37,000	17,000	17,000		実 績 事 業 費	事業費(千円)	43,615	43,615	0	0	0	国庫支出金	2,163	2,163				道支出金	0					地方債	0					その他	0					一般財源	41,452	41,452				<p>【評価・実績】</p> <p>(実施内容等) 補助金交付件数 96件 新築 3件 中古住宅購入 4件 増改修工事 89件 子供加算 1件 認証材加算 1件 ※前年度評価結果 A-継続/現状維持</p>	<p>(実施内容等)</p> <p>※前年度評価結果</p>	<p>(実施内容等)</p> <p>※前年度評価結果</p>	<p>(実施内容等)</p> <p>※前年度評価結果</p>
事業費(千円)	80,000	40,000	20,000	20,000	0	0																																																																										
財 源 内 訳	国庫支出金	9,000	3,000	3,000	3,000																																																																											
	道支出金	0																																																																														
	地方債	0																																																																														
	その他	0																																																																														
	一般財源	71,000	37,000	17,000	17,000																																																																											
実 績 事 業 費	事業費(千円)	43,615	43,615	0	0	0																																																																										
	国庫支出金	2,163	2,163																																																																													
	道支出金	0																																																																														
	地方債	0																																																																														
	その他	0																																																																														
一般財源	41,452	41,452																																																																														
前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	80件	80件																																																																													
	年度達成率	109%	0%	0%	#DIV/0!	#DIV/0!																																																																										
第6期計画への継続 (継続無し)	全体達成率	55%	55%	55%	55%	55%																																																																										
	事業進捗状況	☆☆☆☆																																																																														

事業名	雄武町快適住まいづくり促進事業	評価者	管理職 職氏名	町有施設整備室長	渡邊 孝司
		評価者	作成者 職氏名	建築係長	宇野 安久

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町民	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	利用者件数の維持
【抱える課題やニーズは】	町民の定住対策としての住環境の整備	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民の安全快適な住環境の確保	①	目標年度 実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	町民の安全快適な住環境の確保	申請件数の実績	80 96
【その結果、どのような成果を實現したいか】 ※成果=目的	住環境整備により定住が促進され、活力あるまちづくりを推進する。	②	達成度 120.0 %
【内容(どのような手段で何をを行ったか)】	社会資本整備総合交付金の活用		目標年度 実績値
			達成度 #DIV/0! %
		国土交通省所管の社会資本整備総合交付金事業として、交付金の導入を図り、町民に対し事業の普及を図った。	

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	町民の定住対策として、住環境の安定と向上のための整備に対し、一部支援することは町が担う必要がある。
	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

	設定した目標値の達成状況	当事業の利用者件数について、事業として成果が得られている。
有効/概ね有効 /課題あり	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
	<input type="checkbox"/> ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

	判断の理由	当事業により、町民の居住の安定が図られたことは効率的と判断する。
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
	<input type="checkbox"/> 人員削減	
	<input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

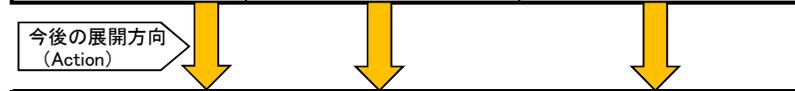
	判断の理由	住環境の安定及び向上のための住環境整備への支援により定住対策が図られたことは公平である。
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
定住対策としての居住の安定・向上への支援については、中古住宅の活用、既存住宅の改修など施策効果がみられ、今後においても事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
町民が行う住環境の整備に対し一部を補助する事業については、居住の安定・向上による定住対策として必要であり、継続・現状維持が適当である。		

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 11010030

政策目標	4 うるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ○既設町営住宅内部給水給湯管改修 潮見・新町・単身者—3団地13棟
基本施策	18 住環境の整備	事業優先度	B	
単位施策	2 良好な住生活の確保	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)	
事業名	既設町営住宅団地環境整備事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	11 町有施設整備室	
事業主体	雄武町	関係課	3 税財管理課	
事業指標	既設町営住宅の維持		#N/A	
事業目標	屋根葺替改修3団地17棟 外壁防水改修3団地9棟 外壁塗装改修1団地1棟	ハード/ソフト事業区分	1 ハード事業	
住民参加	無	関係例規・法令名	有 公営住宅法	
住民協働		関係個別計画名	有 公営住宅等長寿命化計画	

全体計画		平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	
事業内容		事業内容					
計 画 内 容	○既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 潮見団地—5棟 単身者住宅—6棟 旭日団地 —7棟	既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 潮見団地—5棟	既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 単身者住宅—6棟	既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 旭日団地—2棟	既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 旭日団地—3棟	既設町営住宅団地屋根葺替改修工事 旭日団地—1棟	
	○既設町営住宅団地外壁防水改修工事 潮見団地—5棟 日の出団地—2棟 新町団地—2棟	既設町営住宅外壁防水改修工事 潮見団地—5棟	既設町営住宅外壁防水改修工事 日の出団地—2棟	既設町営住宅外壁防水改修工事 新町団地—2棟		既設町営住宅外壁塗装改修工事 旭日団地—1棟	
	○既設町営住宅団地外壁塗装改修工事 旭日団地—1棟						
計 画 事 業 費	事業費(千円)	95,973	28,324	15,403	22,094	15,717	14,435
	財源内訳						
	国庫支出金	40,829	12,746	6,931	8,959	5,698	6,495
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	55,144	15,578	8,472	13,135	10,019	7,940	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	27,510	27,510	0	0	0	0
	財源内訳						
	国庫支出金	13,277	13,277				
	道支出金	0					
	地方債	0					
	その他	0					
一般財源	14,233	14,233					
特定財源の名称	社会資本整備総合交付金	(実施内容等) 潮見団地 外壁防水改修 5棟 屋根葺替改修 5棟	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	
	【評価・実績】	※前年度評価結果 A—継続・現状維持	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	※前年度評価結果	
前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	10棟	8棟	5棟	3棟	1棟	
	年度達成率	97%	0%	0%	0%	0%	
第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	29%	29%	29%	29%	29%	
	事業進捗状況	☆☆☆☆					

事業名	既設町営住宅団地環境整備事業	評価者 管理職 職氏名	町有施設整備室長	渡邊 孝司
		評価者 作成者 職氏名	建築係長	宇野 安久

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	町営住宅入居者・町営住宅	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	既設住棟の確保								
【抱える課題やニーズは】	建替までに相当の期間を要する団地住棟に対する適切な維持管理	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値								
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	適切な維持管理による居住環境の向上と住棟の長寿命化	①	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>10棟</td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td>10棟</td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>100.0 %</td> </tr> </table>	目標年度	平成25年度	目標値	10棟	実績値	10棟	達成度	100.0 %
目標年度	平成25年度										
目標値	10棟										
実績値	10棟										
達成度	100.0 %										
【その結果、どのような成果を表現したいか】 ※成果=目的	良好な住環境と既存ストックの長寿命化の確保	②	<table border="1"> <tr> <td>目標年度</td> <td>平成25年度</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成度</td> <td>#DIV/0! %</td> </tr> </table>	目標年度	平成25年度	目標値		実績値		達成度	#DIV/0! %
目標年度	平成25年度										
目標値											
実績値											
達成度	#DIV/0! %										
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	民間業者による工事の実施	入札により民間業者に工事を発注し、町営住宅潮見団地の屋根葺替工事5棟及び外壁防水工事5棟を実施した									

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要/概ね必要 /課題あり	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	住棟・住戸について、適切な維持管理による良好な住環境を確保することは、町が担う必要がある。
	<input type="checkbox"/>	全部	
	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

設定した目標値の達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	達成	適切な維持管理により、良好な住環境と既存ストック住宅の長寿命化が図られた。
有効/概ね有効 /課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

判断の理由	<input checked="" type="checkbox"/>	事業費抑制	市場単価の調査による適正な積算単価での発注及び適切な維持管理による既存ストック住宅の長寿命化が図られることは、コスト縮減につながり効果的である。
	<input type="checkbox"/>	人員削減	
効率的/概ね効率的 /課題あり	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

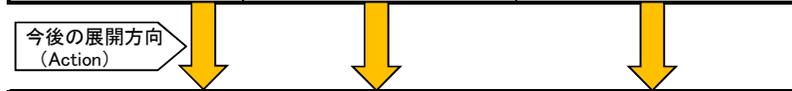
判断の理由	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	事業実施により、良好な住環境が確保されることは公平であると判断される。
	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
公平/概ね公平 /公平でない	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
公営住宅ストックの長寿命化に資する計画的維持管理、修繕及び居住環境の維持向上のための住環境整備は、今後も計画どおり事業を進めることが適当と判断する。		



継続/現状維持		
居住性や安全性が確保され長期的な活用を図るべき公営住宅について、長寿命化改善事業による住環境整備は必要であり、継続・現状維持が適当である。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止